

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

様式2
(2023年度)

事業実績報告書

講座番号	B-67	講座名	レイチェル・カーソンの思いを繋ぐ
記載日	2024/2/17	団体名・企業名	レイチェル・カーソン日本協会東海フォーラム

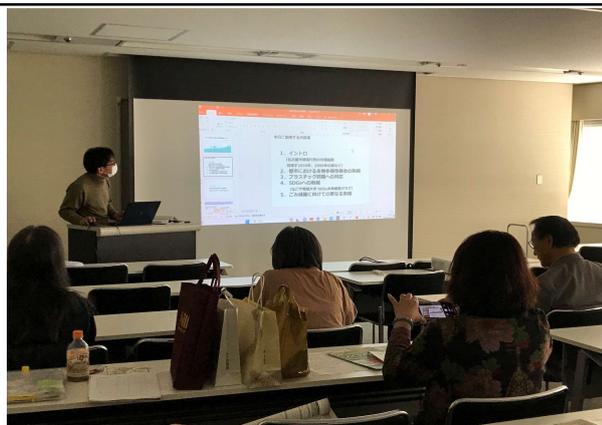
〈講座全体の概要〉(300字程度)

「沈黙の春」の出版から60年が過ぎたが、カーソンの警鐘は届いているのだろうか。
人間中心、経済中心の社会は、格差や分断の中で混迷を極めている。一番大切にすべきものは何かを考えるきっかけとなるような学びの機会を共有した。



※写真1の説明

「感覚公害と化学物質」の講座
(10月28日)



※写真2の説明

「環境問題あれこれ」について市行政を俯瞰して語る(12月9日)

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

・今回は、受講者などからの要望に沿う形で講座を構成したので、行政からの講師が丁寧に説明して下さった。その成果はよく出ていると思う。
・環境大学でもアンケートの結果から受講生の希望する分野の講座を企画したり、企画するよう団体によびかけたりしてほしいと思う。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

・詳しいデータに基づき説明していただき、感覚公害と化学物質の問題の概要がよく理解できました。
・油の皿をティッシュで拭いてから洗っていましたが、ティッシュも高いし、貴重なので考えさせられる問題です。洗剤をできるだけ少なくしています。
・ずっと続けていただきたいと思います。(水俣病の学び)